

詩画集

第Ⅱ・ステージ・19の秋



やまのうえの むらひと
山上 村人

目次

讃・仲秋の名月	4
毎日がパラリンピック	6
予算がなくて出来る事	8
虫の命	10
魔法使いがイイ	12
人間は一人しかない	14
子曰く八十にして刮目す	16
針供養	18
あなたは誰れ？	20
ゼンタイ トマレ	22
話せば分かる	24
再会	26
ルーツ	28
秋は赤い実	30
私は認知症です	32

3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	8	6	4
2	0	8	6	4	2	0	8	6	4	2	0	6	4



世界に一人だけの不思議

ゴールデンアワー

天井天下唯我独尊(吾解)

生き物たちの抗議

悪人皆無愚人少々

これでイイのだ

ほとけさま誤伝

以前作つたものですが

歌える曲になるといいな

兎のピクニック

コセンダングサ

クリスマスプレゼント

追補

$\frac{4}{6}$	$\frac{4}{4}$	$\frac{4}{2}$	$\frac{4}{0}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{3}{6}$	$\frac{3}{4}$
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------



讚・仲秋の名月さん

一日が終る

一年が終る

そして一生が終る

遅い風呂に入りながら思った

出逢ったのは人間だけと思っていたが

この世界は生き物だらけ

耳を澄ませば窓の外で一面に虫が合唱している

この小さな天地はもう秋だと

同じことを感じ考えている人の群れ

違うことを感じ考えている人の群れ

楽しいことと苦しいことではどちらが多いか

お釈迦様は四苦八苦を数えたが

いいことも四つや八つくらいはある

ある朝の一枚の落ち葉の鮮やかさ

通りすがりに出会った幼児の笑顔

一椀の季節の食べ物

無事退院の便り等　それだけのことだけど

人間にはワルモノとイイモノが混ざっている

TVや紙芝居だと違いはすぐ分かるが

エリートの集まる議会では分からなくなる

みんな正しいと叫んでいるからだ

分かり易いのは動物達だ

喰われる鰯いわしや鰻あじは丸い目をしているが

正直なサメは「オレは悪者だぞー!」と

目を三角にして小魚の群れにやつてくる

言ってみたい言葉がある

ある日世界の外れで「あなたの国籍は何処ですか」(Where are you from?)

と尋ねられたら空を指して言うのだ「プレアデス」※

夢の中まで明るい仲秋の名月



さきたま古墳

毎日がパラリンピック

どこか身体に障害のある方の競技会です

強い者が弱いものに勝つのは当たり前

それは人間の長い伝統です

だから誇りある男は子供に勝つたり

女に暴力を振るわない

戦いの面白さは五分五分が条件だ

そして簡単に手に入るものより

苦労して手に入るものが尊いとされている

崖の上のエーデルワイス・鷲の卵

自慢話なら雪男と握手・雲の上で仙人と話した等

将棋は格下の者には駒を落とす

サッカーは手を使わないのが原則

しばしば相手のシャツを掴んでいるのを見るが

即退場のレッドカードはなかなか出ない

分からないようにやるか 少しくらいならいいらしい

この社会と同じだナ

人間性むき出しの競技場は熱狂しすぐ乱闘になる

身体の不自由な方のパラリンピックは四年毎にあつて

心に障害がある人のパラリンピックは何故無いのか

理由は簡単日々の世界がそのものだからです

威張る方／軽はずみな方／意地の悪い方／心が見えない方／

心が聞こえない方／心が動かない方／他人の欠点がよく見える方／

猜疑心の深い方／感じない方等心が不自由な方

改めて眺めた

金メダルは○○さんです

銀メダルは○○さんです

銅メダルは○○さんです

心優しい○○さんは今回も予選落ちです



予算がなくて出来る事

巨大な予算で巨大なダムを造り

途中で止めます　そして再開します

巨大なムダ

けものみち
獣道に高速道路を作ります

じよせん
除染といって放射能汚染の表土を薄くはぎ取り　※

山の上に運びます

風と雨がその土をまた持ち帰ります

横暴な王を倒した後別の王がまた同じ事をします

「民は常に愚かで監視指導の対象である」という上から目線の種族がいます

彼ら無駄な人間が無駄な時間を使い無駄な事に大きな予算を使ってしまうので

小さいものには予算がなくなるのです。

一方人間界の外で運営されているのが自然界です

季節になると藪の中で発声練習をしているウグイス

荒川の夜桜のぼんぼりは予算がなくて中止されているが



ニワシトリの家

今年も中止しない道端の彼岸花のパレード

小さいながら健けなげ気に咲いている昼顔

人間界ではお金は大事です

多くの幸せはお金で買えます

少し前の時代泣く々娘を女せげん術に売った

キリスト教会でも毎週人が集まる所には献金箱が廻ります

一切れのパン一杯の水も有料です。

お金では買えない幸せもかなりあります

予算が無くても一人でも二人でもできることです

感じること・思うこと・祈ること・褒めてあげる事

撫なでてあげる(子供と犬以外は注意)事

チヨレート代わり恋人からの一秒間のキス(純愛物語に限る)

一枚の葉書／心のある一言／心を込めて手に入れたお守り

無条件に味方の母の言葉／影ながら無事を祈る人達／思いを込めて作った千羽鶴

国籍を超えみんなが一分間祈れば地球が動くといった人がいる

「アーヴィンラズロ」ハンガリー生まれ ピアニストで未来学者

こういう方が世界各地にいます

今の日本にもいます タダで



虫の命

鈴虫の籠を片付けようとした時です

「まだ生きていますよ」

一匹がヒゲを動かしました

「誰もいない世界で何をしてるの？」

生き残りの鈴虫が虫の息で答えました

…みんな一緒に旅立ちたかったのだけど

大きな送迎バスは戦争や天災で当分大忙しです

「これしかなくてスイマセン」

自転車で来た人が順番々と一人だけ荷台に乗せていきました

「一人になつて三日も経ちます。私を忘れてしまったのでしうか

このまま一人だけで寂しい季節を迎えるのかと思うと心細くて…」

「お気の毒に…」

いつも同じ歌を歌つて食べものはナスと煮干しの粉末だけ

お酒もお寿司も知らない籠の中の哀れな一生です

「いいえ」生き残りの鈴虫が顔を上げました。

「でも私達は土の中に小さな卵を残しました



来年の新緑の頃^{ふか}孵化^かします。

私達は昔から常夏の国を旅をしているのです」

翌日無事最後の一匹が死んでいました

置き手紙がありました

「昨夜へお待たせ、すぐ追いつきます」といつて

お迎えのバイクが来ました。ナナン(750CC)です。

これから寂しい秋と厳しい冬がきます。

人間は頑張つて下さい。じゃね」



魔法使いがイイ

大きくなつたら何になる

王になる／金メダリストになる／博士になるETC

欲の深い者はたつた一つを選ばない

《何時でも》《何にでもなれる》のがいいと思うのだ

平安の昔空海という欲の深い青年がいました

その頃隣の中国で恵果和尚という魔法使いがいました

空海は十年後念願の遣唐使の船に乗り込みました

恵果和尚は既に空海がくるのを知っていました

空海はそこで密教という魔法を会得して二年めに帰国したのです

魔法の技は分類すると無我力：念力：遠知力：心眼力：通神力：の五種類です

同じ頃唐から帰国したエリート僧最澄がいます

有り難い仏教哲学を学んだ最澄は現在の高級官僚です

最澄は宮廷で有り難いお話や高遠な哲学を語りました

格下の民間人の空海はお話ではなく

雨乞いや病魔退散等靈験あらたかなそのパワーが巷で噂になりました

遂に時の権力者嵯峨天皇から召喚状が届きました



空海発光体となる

《噂がホントかどうか大勢の目の前で証拠を見せるよう》

空海は様々な新興宗教の教祖と違いました

「承知しました。手品師や科学者やメディアを大勢呼んできて下さい」

清涼殿には期待と猜疑心でキラ星のごとく居並ぶ家臣僧侶達に

「では、ご照覧あれ」

結跏趺坐した空海からたちまち一万ワットを超える五色の光りが放たれました

世論はたちまち有難いお話より即効性のある宗教に傾きました

あわてた最澄は密教を研修させるため弟子を唐に派遣しました

私は不思議ファンでそんなことが今もあればいいのに！と調べました。

あります。います。日本にも外国にも数えきれないほど

動物と会話 テレパシー 時空移動 テレポテーション 想念の物質化

奇跡的治療 心霊・故人との対話 ETC

それを証明する人が無学な巷の霊能者でなく困ったことにそれぞれ最先端の科学者です。※1
ただし双方ありますのでどちらを選ぶかは趣味の問題です。

因みに私の趣味はお酒はぬるめの燗。不思議な話が好きです。

有つて無いもの 無くて在るもの

電話では何故か聞こえぬ 虫の声

※2



人間は一人しかない

大勢の人の役に立つのは難しい

例えば日光の紅葉を見たい人がいる

二人なら一週間以内

三人なら十日以内

五人なら二週間以内

それぞれOKの日が見つかるが

十人集まると一ヶ月以内で全員合意できる日は無くなる

それで今年止める事になる

百人でも千人でも全員一致の集団がある

王の家来達や軍隊のパレードである

じゆうにんといろ

十人十色 人は一人でも日によつて違う

音楽にも好みがある

ある人にとっては踊り出したい曲が

別の人には耳を覆う騒音になる



秩父 金昌寺

大勢の人に喜んでもらうのは難しい

たとえ全員空腹であつても

ごはんがいい人 パンがいい人

そして味付けも濃い薄いがあり

病気で食べられない人までいる

一人の拍手と大勢の拍手ではどちらがよいか

会場で終わる千の拍手と

一生覚えている一人の人への感謝

この世に人間は一人しかしない

雑踏の中で「人類よ」「諸君」と呼びかけても

誰も振り向かない

群衆の中で木に登っている男にイエスが声をかけた

「ザアカイよ。降りてきなさい」

「はい。すぐ行きます」

男は目を輝かせ桑の木から降りてきた ※



子のたまわ
子曰く八十にして刮目す

孔子の晩年は淋しい

子曰く

吾れ十有五にして学に志ぎす。

三十にして立つ。

四十にして惑わず。

五十にして天命を知る。

六十にして耳順う。

七十にして心の欲する所に従つて、矩を踰えず。

孔子の言葉が元気だつたのは四十歳迄である

五十歳になるとトーンダウンした

ここで天命といつたのは言葉や世間の声である

この方は元来、怪力乱神を語らずと

不思議現象(スピリチュアルな世界)には手を振り

スピリチュアリストとは一線を画した

やがて六十歳になると明らかに声が小さくなり

「六十にして耳順う」と呟いた

問題は孔子が遂に七十歳を超えた時の言葉である

七十歳は古来希な年齢であった

既に名誉欲も知識欲も性欲も食欲も消えていた

「七十になると思いのままに行動してもみな世間慣例内のものになった」

人の善いおじいさんになったのである

己の欲することは少なくなっていた。つまり人畜無害になったのである。

孔子は何故《八十にして…》を言い残さなかったのか

七四歳〔満年齢七三歳〕で死んでしまったからである

それにしてもまだ七十台も半分以上残っていたのに…!!

生きながらえてもその先は同じだと思ったのである

今や高齢者の時代である

八十歳を超えるものが珍しくない昨今

高齢者に贈るもつと元氣の言葉はないだろうか!?

【八十にして刮目す】

【翻然として桃源郷を垣間見る】など

孔子が亡くなつてから一世紀後莊子が現れた

莊子は午睡のあと【胡蝶の夢】を見た ※



針供養 はりくよう

日本には針供養という奇習きしゆうがあります

折れたり 曲がったり サビたり

使用できなくなった針をただ産廃処分せず

さぞご苦労されたでしょう と

豆腐や蒟蒻こんじやくに刺して近くの神社に納めるのです

私としては刺された布や

指を刺されて血を滲ませたお針子のことも考えるのですが…

可愛そうといえは毎日食べている生き物達がいいます

タラコ イクラ めざし 小女子こうなご

お米も麦も豆も無機物の針より生き物です

タラコ供養やメザシ供養やイカ、タコ供養は何故しないのでしょうか？

人間が健康で長生ながいきできるよう

人間の人間による人間のためだけに

毎日生体実験せいたいじつけんされている生き物達がいいます

工場で量産され着いた実験室は動物のアウシユビッツです

マウス、ラット、モルモットその他大勢



あこがれの東大だけで総数40万匹とか 全国では

マウス（ハツカネズミ） 6,840,889匹 2004年

ラット（ドブネズミ） 2,601,120匹 2004年

モルモット 327,218匹 2004年

その他の動物 約20種類以上 年間合計 10,533,071匹

1日8,857匹以上非業の死を遂げます（アンケート回収75%）

多くの犠牲の割につまらない実験もあります

1600匹のネズミを22世代に亘り尻尾を切り続けた学者がいます

ワイズマンという学者ですが尻尾の短いネズミは遂に現れず

名前ほど賢くはないと笑われました ※

数千世代繰り返しても学習効果が見られないのは人間です

宇宙は広大で銀河だけで数千億あります

ネズミから進化した宇宙人がいます

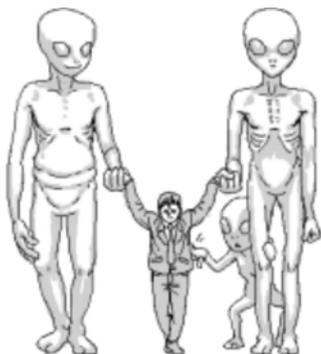
地球人は時々拉致されています

彼等の目的は何でしょう

宇宙人の食用奴隷でしょうか

それとも、どうしたら人間は争わなくなるか

遺伝子の組み替えをやっているのだと思います



あなたは誰れ？

考えるのは頭のヨイ者のすることである

頭のワルイ者がムリに考えても

誰かの考えのコピーであり合唱である

それで「下手な考えは休むに似たり」という名言が生まれた

頭のワルイ者が考えるのは時間のムダなのである

考えるのは意識があるからだ

日本の古代人は万物に霊が宿ると考えた

科学者は苦笑してカブト虫にあるのは本能だけで

生き物で意識が見られるのはチンパンジー程度からという

地球が出来てから八億年も経った頃

偶然無機物から有機物が生まれた

溶岩でも気体でも紫外線や放電の中で八億年もかき回していれば

何か生き物が出来るさ ということです

そうです。どんな宝籤でも何世代も買い続ければ当たります

下手な鉄砲も数打ちや当る

十七文字の四八乗の中には全ての名句がある



デボン紀 肉食動物出現以前の平和な時代

約5000万年間 江戸時代260年より長い。

ある日偶然が小さなビニール袋の中に遺伝子を閉じ込めた
こうして原核細胞が誕生したのである

それから偶然の偶然の偶然の出会いで多細胞生物が生まれた
無性生殖から有性生殖を発案したのも偶然である

生き物が海の中から上陸し始めたのも偶然である

冬眠のアイデアも偶然である

では多くの鍋の中に食材を入れて放置しておく

一億年も経てば一皿くらい美味しい料理になっているのか？

「待ちぼうけ」の農夫は間違っていない

木の根っこを沢山作り一億年も眺めていれば

またそこへ兎が飛んできて木の株にぶつかりコロリ転がる?!

最近では短期間で抗体をつくるバクテリアが人を困らせている

意識が無いのに！ラボ(研究室)がないのに！一億年も経たずに

そんなことがガクのないバクテリア風情にやれるだろうか

イイモノかワルモノか分からないが偶然氏が

どうも怪しい！いつもウシロで囁いているみたいです

あなたは誰れ？誰でしよね♪



T. M

ゼンタイ トマレ

ムカシ 魔法の言葉があつた

どんな格闘技でも大勢の相手を一度に倒すことは出来ないのに
言葉一つで百人でも千人でも

思いのままに動かした言葉があつた

カシラ ミギ

命令される者の中には命令する人より年上の人がいた

ヒダリムケ ヒダリ

命令する人より高学歴の人がいた

ススメ

命令する人より賢い人がいた

ゼンタイ トマレ

命令する人より人望の高い人がいた

命令する人は次第に苛立ち始めた

命令を聞くのは自国民だけだからである

事態が命令する人の思い通り運ばなくなると

最後はヒステリックになつて怒鳴つた

シネ バンザイ

人民は魔法使いのブリキの兵隊であつた ※

大勢の人が仲良く暮らすのは難しい

ひとそれぞれ党あり 達れるもの少なし

(人はみなそれぞれの思いがある 殴られた者は殴ることを覚え

命令された者は命令することを覚え 果てしもない)

嘆息したあと聖徳太子は

憲法の第一条の言葉を【和をもつて尊しとする】とした

自分の思うままであつたらと思う

家族だつて 二人きりの夫婦だつて

いつも同じ事を思い 同じ事を考えているわけでは無い

中でも思うようにならないのが自分である

特に最近出過ぎたマネをしているのが腹だ

ここで私も魔法の言葉を使いたい

ジブンよ トマレ ミギムケ ミギ

マワレ ミギマエエ ススメ



【虹の彼方へ】 映画オズの魔法使い 主題歌

話せば分かる

「話せば分かる」と言った者がいる

「では話し合おう」という場合もある

「問答無用」と即、射殺される場合もある

話し合っているうち「やはり死んでもらう」と引き金を引かれることもある ※1

動物と会話できる者がいる(植物とも) ※2

聖者や修業僧達だけでなく子供から生物学者までいる ※3

《真如》 超能力をお家芸とする密教の祖、弘法大師の十大弟子の一人である

彼は六十歳にしてさらに奥義を究めんと唐に亘り十六年修業したが満足せず

本場の天竺(インド)に向かった

その後の消息で羅越国(ビルマ)で七十八歳で死亡したことが伝えられた

死因は病死または虎に喰われた可能性があるという

高齢のため病死は致し方ないが、もし、虎に喰われたのだとするなら痛ましい

普通の虎なら高僧の靈力にひれ伏したはずであるが

出逢ったのはレベルの低い虎で高僧との会話を拒否し

「問答無用」と喰ってしまったのである。

あるいは《真如》がさらに奥義を究めたかったのは



ライオンと眠る子ティピ

このような生き物や人間とも会話できることだったのかもしれない

猛獣どころか自然現象まで意のままにした者がいる

波と風に揺れる小舟で怯えている弟子達を見て

「静まれ」と一喝すると風と波が静まったという ※4

イエス・キリストである

十字架の下でもはやスプーン一つ曲げられないのを揶揄した人間達がいる

その人は沈黙していた(話すことは終っていた)

：雷鳴を轟かせ槍や剣を微塵に破壊すればよかつたのに：今も思います

揶揄した人の群れは時間を超えてリアルである

身近な話し合いの例

- | | | | |
|---|---------------------------|----|---|
| ① | 改めて話す必要が無い | 1 | % |
| ② | 話したら円満に解決した | 10 | % |
| ③ | 分かりました(これ以上あなたに話してもムダな事が) | 20 | % |
| ④ | まあ そんなところではないでしょうか | 69 | % |



のらねこ学かん

再会

お久しぶりですね

この前お逢いしたのは百五十年前です

私はスー族の兵士であなたは酋長の娘でした

二人は恋していました

私はダコタの戦いで真つ先に突撃し

白人の銃に撃たれ死んでしまいました

赤い河がありました

コンドルが飛んでいたのを覚えています

あしもと
足下で声があるので立ち止まると

イヌタデ(アカマンマ)でした

私誰だか分かります？

前世お会いしたときは子供に恵まれず寂しい思いをしていましたが

見て、いまはこんなにいっぱい花を咲かせています

イヌタデの花言葉があります【お役に立ちたい】です



トンボがとんできて囁きました

「オレだよ」

「あつ、おまえは」

そこは地球ではありませんでした

そういえば月が三つもあつて ※

お手玉みたいに代わる々空に登っていたっけ

闇夜がなかつたので泥棒がいなかつたな

いろいろ思い出しました

沢山の方達がいきました

あの方はいま何処にいるのだろう

父や母やその他、今は居ない人達

みんなどここの星にいるのだろう

私はこの星にきてまもなく八十年になります

ではまた 何時か 何処かで

今日は風もなく暖かい小春日和です



深宇宙 銀河だけで2兆～7兆ある

ルーツ

私が臆病なのは草原で逃げまわっていたインパラの時の記憶です
怒りがたまると心の奥に赤い目が光り獐猛じょうもうになるのは
黒豹だった時のなごりです

月の夜 二つの影が月を見ていました

大事に育てていた雛をへびに食べられてしまいました

やつと育った子兎を鷲に捕らえられてしまいました

こんなことがあつていいのでしょうか

人間のように何処かに訴える所があるのでしょうか

月が答えました ありません

小さな動物に出来ることはしばらく悲しむことだけです

幸い皆さんの命の時は短いです

間もなく忘れてしまうでしょう

人間のように長く生きて悲しむことはないです

年老いたトナカイがオーロラを見ていた



まもなく私は暮れの夜空に消えてしまふのに
何故こんなにも美しいものがあるのだろう

道端で小さな声が聞こえた

今朝咲いた野の花である

私こういう小さな花です 知っていましたか？

ああ とても綺麗だよ

明日旅立ちます。貴方に気づいてもらって良かった

望遠鏡でみた深宇宙は深い暗黒の世界です

光っているものがあります

人の耳に聞こえる言葉もあります

小さなことでも貴方がした事はみな私にしたことである ※

私の父方の先祖は単細胞です

母方の先祖はミトコンドリアです

みんな私の心の中にあります



草の実の自画像

秋は赤い実

時と場所はいつも一緒

時が手を離すと人は一枚の絵になってしまいます

谷内六郎の「妹のいた風景」のピンナップが壁にあります

同じ風景でも妹が居ない風景はさびしいだけ

一匹の蝉が死んだということは

どこかで千匹の蝉が死んだということです

そして生き物はみな死ぬということです

この世界はみな劇場のよう

登場人物は幕が降りるといなくなるが

過ぎた世界にいけば壁の絵になつていつでも逢えます

枝先に赤い花水木はなみずきの実が残っている

一センチに満たない空間にも細胞や細菌達の無数の世界がある

銀河の中では地球は見えない

その銀河を一つ一つ数えて真面目に観測していた学者がいたが ※

ハッブル望遠鏡が深宇宙に何兆もある銀河を発見してからは

呆あきれて観測を辞やめサッカー選手になつてしまった



何兆もの銀河がある世界と虫や人間達

世界にあるものはみな部分だ

それにしてもミクロやマクロの世界はあまりに多すぎる

それで大概のものたちには名がない

人の命が粗末な昔、男子三番め以降は四郎五郎六郎と命名した

線虫せんちゅうなどの種族は未だ種類そのものが分からないのに ※

幸いこの国では国民一人一人に背番号が与えられました

部分には部分の役割があると思いたいが

特に名前がないものは

役割も意味もないのかもしれない と心配になります

何も無い者はしばらく日向ぼっこしたあと考えます

用がない人は用を作ろう

猫でさえ垣根をくぐり何処かに出向く

白山羊さんは黒山羊さんにお手紙を書こう

むかしむかしあるところに…

人は夢物語の世界に生きているのだと想います



私は認知症です

ついに平均寿命じゆみように到達しました

ここまで来られなくて落後らくごした方がいます

母もそうですが父など私の半分の年で亡なくなっています

柿の木に登って「おおーい、何処どこまでいくんだ」

手を振っている少年はどこか見覚えがあります

ようやく身体からだの部品も傷み始めました

交換したり修理したりしていますが、こりやダミだね、というのもあります

怖いのは認知症です

今朝食べたものが思い出せない

顔は覚えているのですが名前が思い出せない

友達や家族が分からなくなる

帰る家が分からなくなる

目の前にあるものが見えなくなるだけでなく

無いものが見えたりします

耳が遠くなつた上に聞こえないものが聞こえたり

こつなると重症です



実は私、しばらくまえから似た症状が出始めています

地球人では無かつたような気がしてきたこと

「このくらの雨、散歩に行け」と言う飼い犬の声とか

エサをもつて水槽に近づくと「待つてたよ」という声が聞こえます

人様の区別ひとみながつかなくなりました

エライ方、エラくない方の区別が分からないのです

世間との価値観のズレが大きくなりました

私に好意的な女性をみるとみな美しく見えます

視力もかなり落ちています

やめればいいのにお酒もほどほどを超え

徳利とつぐりの数を間違えたり「この徳利は穴があいている！」

とクレームをつけたり 響ひんしゆく感かんを買うことがあります

「まだ此こゝ処こゝにいていいんだっけ？」と夜中に目を覚ますことがあります

そういえば十年まえ妻に「あなたは誰でしたっけ？」と尋ねたことがあります

妻はしばらく目を見張っていました

「ぞうだ。帰えらなくちや」とそのままいなくなってしまう

認知症はかなり進行しているようです



世界に一人だけの不思議

一つ一つが充分に美しいのに

木や草が沢山同じ花をつけるのは勿体ないことだと思います

桜やコスモスだけではない

枝もたわわな柿やユズの果物

激減した野鳥が食べきれないガマズミはなみずきや花水木の無数の赤い実

一つ一つ包装された高価なリンゴもメロンも

この世界にあるものは同じものが幾らでもある

例外があるのは人間です

こんなに大勢いるのに一人一人違うなんて！

リンゴやピーナツのように同じものがいくくらでもあれば

大事な人が居なくなっても、変わってしまっても

悲しむことや悩むことはないのです

可愛い盛りの三才の子が死にました

「再発行して下さい」と市役所の戸籍係に行きます

亡くなった方のIDカードを提出します

「五番窓口で三分お待ち下さい。」



生き物用3Dプリンターでお作りします」

「はい。お待ちどうさま。手数料千円頂きます」

全てコピーされた子供を抱いて笑顔になった夫婦が帰ります
元通りの恋人と手を組んで帰るカップルがいます

銀河だけで七兆ある宇宙には地球と同じ星が沢山あります

みな地球より進んだ文明国でやはり男と女がいます

女は容姿端麗でみな同じ形です

男はスポーツマンタイプ。頭脳すのうめいせき明晰で同じ形です

いずれも量子コンピュータでつくられた最高モデルです

寸分違わぬ形なので番号で区別しています

総人口は百億を数えますが全て交換可能です

毎日同じ大河ドラマを見てワイド番組を見ます

吉本興業の芸を見て同じ所で一斉に笑います

素晴らしい哉！新世界

「行きたい？」

宇宙人の猫が言いました

「少し考えさせてくれ」

私は今悩んでいます



ドラエモン 孫

ゴールデンアワー

一日で一番良い時は朝である

日の出前から小鳥が話している

この地上に初めての朝があつた日のことを

一日で一番良い時は昼である

光りは地上だけでなく

水の底まで届き命が溢れかえる

昼の世界があるのは夜の世界があるからです

真昼 夜の生き物達は赤い目を閉じて眠っている

一日で一番良い時は寝る前である

今日のごとは今日で終われり

蟻の一日があり人の一日がある

星が次々現れやがて満天に輝く

大勢いる時は一番よい時

昔からライオンの口、熊の爪をもたない人間は
群れで助け合ってきた

一人の悲しみは百人の悲しみ

一人の喜びは百人の喜び

思いがこみ上げた時、人は祭りの中にいた

昼の祭りがある 夜の祭りがある

人の世には昔から祭りが続いている

人が二人しかない時は対話の時

人は日々対話で暮らしているのだ

対話は簡単なものほどうい

「見て、今日は満月だよ」「まあ…」

「大丈夫?」「大丈夫だよ」

人が誰もいない時は誰と対話するのか

闇の中で私は見えないものを思い出す

人はみなこの国のものとはかぎらない

私は鳥になつて夢の国に旅立つ



天上天下唯我独尊(吾解)

お釈迦様は生まれてすぐ七歩歩き

世界中で自分が一番エライ、と叫んだという

自分からエライというのは謙譲の美德を欠く言葉です

幾らお釈迦様でも…

お釈迦様はたしかに非凡な方ですが

五百年前にはインドにアガステイアという聖者がいたし

それから五百年後には神の子キリストが生まれました

時空を見通せる方がこの方達を知らなかったのだろうか

そんなはずがない

お釈迦様は檳榔樹の下で食を絶ち深い瞑想の果て

物質も空間も時間も定かなものではないこと

この世界の真相は「一切一切一切即一切」であると感じたのである

その中で自分は何だろう

山で無し雲で無し花で無し

顔も無し手も無し足も無し目も無し耳も無し

何も無し

※1

自分には形がなく在るは意識だけと気づいたのである
そしてさらに目を閉じて愕然がくぜんとした
意識が消えると物も空間も時も消えてしまうことを
一輪の花は自分が見ている間だけそこに在るのです ※2

飼い主には従順な犬も時折けもの折獣に帰る

汚物おふつを拾い食いをする

時折鳥を見ると襲おそいかかる

私もまた犬と同じだ

時には色情を抱き、怒り、落胆し

造られた一時の生きものにすぎない

その貴重な一時、縁あってそれぞれ気がかりな者達がいる

この世界、少し前には幸薄さいちゆうすい母がいて父がいた

天上天下この世界の一時ひととせとき

いろいろなものが生きている

野の花が咲いている アメンボがいる

貴方がいる もう暫く私もいる



林照院 子安観音

生き物たちの抗議ことうぎ

ここ数日水槽のタナゴが死ぬ

始め一匹 昨日二匹 今日三匹

毎日エサを上げているのに 何が不満なのだろう

細い気泡ほいほうも出ているのに 何を言いたいのだろう

まだ生き残っているタナゴがいるが

みなおし黙っている

給食費全額負担せよ！

基地反対！

原発反対！

交通違反 物陰から飛び出すの 止めろや！

深夜の地震 止めろ ウチには幼い子供がいるのだ！等

小さな生き物たちにはプラカードやシユプレヒコールがないので

何が不満なのか分からない

歌もない 行進もない

「僕たち 私たち みんな 死じやうからね」



クツワムシ
(俗名ガシャガシャ)



故 タナゴ様

「やがて みんななくなつちやうよ」

声が出ない生き物達

メールができない生き物達

棍棒こんぼうや銃じゆうを持たない生き物たちの抗議は

毎日誰かが黙つて死んでいくことです

そうして最後の一匹がいなくなり

やがてそんな生き物がいたこと自体が忘れられていきます

ツバメがいなくなつたでしょう

スズメも激減げきげんしました

ホタルはいまは童画どうがの中で光り

ガシャガシャ(くつわ虫)は夢の中で鳴いています

カネタタキを知っているのは田舎いなか育ちの高齢者です

馬追うまおい(スイーチヨ)を知っている子供はもういないでしょう

「それって、恐竜時代きょうりゆうじだいにいたの？」子供

「…それほど昔じゃないけど、昔、あるところにいたのだよ」老人

とりあえず私ができること

今日は水槽の水換えをします



ウマオイ(俗名スイーチヨ)



故カネタタキ様

悪人皆無愚人少々

一芸に秀でた人がいます

何かの許認可権を持っている人がいます

そういう人の中に時折

「威張りくさつて嫌なヤツだよ」

「いやな感じねえ」

「何とバカなことを」

と囁かれている人達があります

そう言われている人にお会いして尋ねました

貴方は悪い人ですか？ 愚な方ですか？

十人に尋ねました。百人に尋ねました

自分で愚かしく悪い人間だという人は一人もいませんでした

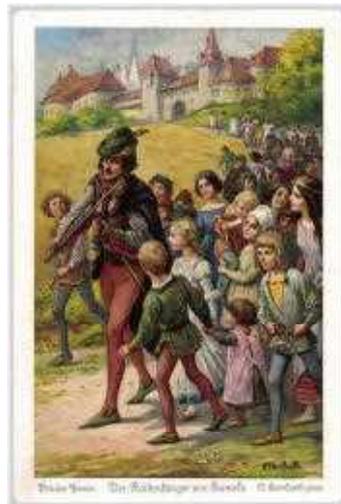
逆に人の為にどんなに尽力しているか、ルル説明をされました

いじめ問題は昔からあります

忠臣蔵は大人社会の苛め問題です

百人苛められていたら苛めた人が百人いるはずですが

苛めた人はいません。苛めたのでは無く楽しんだだけです



正しいかどうかは時間が経てば分かる、というのも疑問です

何時の時代にもハメルンの笛を吹いて行進させる人がいます

またある時代は天道説以外の考えを嘲り迫害してきました、

歴史を遡りその人達にインタビューできたら

「私が間違っていた。ごめん」と言うのでしょうか？

大半の方は言わないと思います

／あなた方は見ても認めない／その心は鈍くなり／その耳は聞こえにくく／

その目は閉じている／二千年前の言葉である

「彼らは自分で見えると自負しているので罪は重い」

キリストは哀しみ怒っています。 ※1

反省をするのはサルだけです ※2

希に自分から愚かだと認める人もいます

昔、ロシアに一人イワンというバカがいたとトルストイが報告しています ※3

日本では江戸時代国仙和尚が良寛というバカがいたと記録しています ※4

良寛は出家後自ら大愚(大バカ)と号していた

名僧国仙は良寛の大愚は大賢に同じと評価し認可として藤杖を与えた

良かったーこの世に悪人や愚かな人は少ししかいないのです



反省猿

これでイイのだ

美男子でなくて良かったよ

もてない人や片思いの人の

哀しみや寂しさかな屈辱くつじよくが分かって良かったよ

高学歴でなくて良かったよ

秀才でなくて良かったよ

その他大勢であつて良かったよ

目線の高い人間にならなくて良かったよ

気が小さくて臆病な男で良かったよ

人並み以下の男で良かったよ

この世界はそういう人間の方が多いのだ

腕力に恵まれ 勇気があつて

おまけに心優しい男など見た事がない

地に落ちた小雀を守るため犬の鼻先を何度もかすめ

恐怖で息絶えた親雀の話がある ※1

勇気とはそういうものではないだろうか



秩父 金昌寺

格闘技の男のワンパンチで卒倒する

コルベ神父は残忍な死刑の身代わりになった ※2

この世には時折神のような事をする人間が現れる

家族に障害者がいて良かったよ

そういう人やその家族の気持が分かって良かったよ

そんな自分でも出来ることがあつて良かったよ

百人、万人の役には立たないけど

一人に喜ばれる小さなことなら幾つもある

「富者の万灯より貧女の一灯」《賢愚経》

…この女は来世仏となつて生まれ変わるであろう…

カースト制男尊女卑のインド生まれの釈尊の言葉である

誰がつくつたものか分からない 古代遺跡 海底遺跡 ※3

一方石碑や銅像になつて名を残す偉人達がいる

…野の百合を見よ。この美しさはソロモンの栄華に勝る… ※4

…この女が私にした小さな事は代々限りなく伝えられるであろう… ※5

神の子キリストの言葉である

私は恥多き生き物、人間であるが

安堵したのは人間を超えるものがあることである



二千五百年前お釈迦様が説かれた教えは類(たぐい)ないものです

天竺(てんじく)を超え唐(とう)を超えて日本に伝来したのは六世紀の飛鳥(あすか)時代です

当時の日本には既に神道(しんとう)という宗教がありました

既存の神道を守る物部氏(ものべのし)と新しい宗教を国教としたい蘇我氏(そがし)と戦争になりました
蘇我氏の勝ち、物部氏の負け、となりましたが

その後は神道も無くならず「本地垂迹(ほんぢしやく)」という素敵(すいじやく)なアイデアがうまれました

場所によつては神も仏も同じ敷地(敷地)に同居することになりました ※

ところが明治の始め神道尊重、仏教軽視という考えを強調した人ができました

水戸(みづか)の光圀(みつくに)がリーダーの水戸学派(みづか)です(TVはウソでこれがホントの黄門(わうもん)さまです)

いつの時代でも大義名分のプラカードがあれば暴(あ)れたい人種(じんしゆ)がいます

一時代過激(こげき)なイスラム教徒(きやうと)と同じく暴徒(ぼうと)化した人々が

「廃仏毀釈(はいぶつきやく)」のプラカードを掲(た)げ多くの寺院(いんえん)、仏像(ぶつざう)を破壊(はくわい)しました

敷地(敷地)が没収(めいしゆ)され小学校(しょうがっこう)の敷地(敷地)になった例(れい)も少なくないようです

黒浜(くろはま)小学校(しょうがっこう)の敷地(敷地)の片隅(かたぐも)にある祠(ほこり)の小さな仏像(ぶつざう)に尋(たず)ねました

「昔(むかし)は隣の広い学校敷地(がっこう)にお住(す)みになつていたつて本当(ほんとう)ですか？」

「……」

金色(きんいろ)の(少しメッキが剥(む)けていますが)仏像(ぶつざう)はただ微笑(えいごう)んでいました



兎のピクニック

今日は朝から良い天気

お出かけするには良い天気

お弁当要らない季節です

おいしい草が何処にでも

時々兎が立ち止まる

お耳を立てて注意する

深い草には蛇がいる

兎は蛇のお弁当

油断も隙もありやしない

岩陰^{かげ}から狐も狙つてる

頭の上には豹もいる

水辺はワニが狙つてる

兎はみんなのお弁当
いい人なんているもんか

青いお空にや鳶や鷺

花咲く野原に寝ころべば

鳶も鷺も急降下

逃げるヒマなどありあしない

兎は時々立ち止まる

長いお耳をたてながら

草を食べ食べ考える

明日天気にしておくれ



コセングングサ

青い空が好きです

風に吹かれ

雲を見ているのが好きです

黄色い小さな花です

両手からこぼれています

欲しい方にみな差し上げます

遠くに在るものが好きです

昼の白い月

遠ざかる渡り鳥

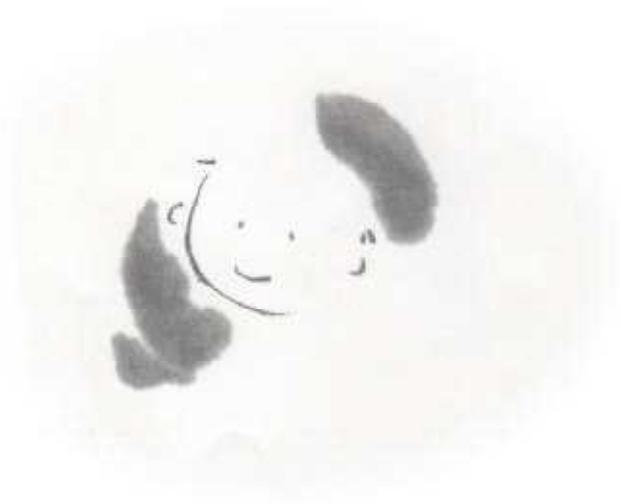
何時までも赤いちぎれ雲

空に在るものが好きです

みんながいなくなつたあとで現れる一番星
でも



いつものまにか傍にいて
私の名を呼んでくれる人が
一番好きです



クリスマス・プレゼント

神様 この聖夜の一日

靴下に入らないものを下さいませんか

それは誰でもが持っている何でもない一日です

目の見えない方に

目が見える一日をプレゼントしてくださいませんか

クリスマスの朝起きて

光りの中で

親しい人達の顔をみた時の喜びどんなでしょう

その一日 ひとつ ひとつ

花を見て 虫を見て

見飽きることはないでしょう

やがて一日の終り 光りが地の面から去り

夜空の星を見てその一日が終ったとしても…

歩けない人にも

神様 一日だけ歩かせて下さいませんか



祈る少年サムエル

病床にある人に 今日一日だけ

苦痛のない一日を与えて下さいませんか
亡くした子供を

たった一日母の胸に返して頂けませんか

父の背に返して頂けませんか

人には出来なくてもあなたには出来るはずす

もし それが出来なければ

せめて あなたが 今もどこにでもいて

あなたを見つめていることを

キャンドルの揺れる夢の中で

伝えて頂けないでしょうか



聖夜 (フリーイラストより)

追補

讃・仲秋の名月

5頁 ※

エリザベス・キュブラロス 短気な彼女にも何故かファンが多い。著名人も少なくない。その一人バーバラ・ブレナン「光りの手」著者(医学博士)出逢いの時、荒野で運転をしていた彼女がプレアデス星団を指し、「私はあそこから来たように思います」というとエリザベスは「あら、素敵なメルヘン」とは言わなかった。「私もそうなの」。そのとき二人の目が輝いたと思います。

私は人生の前半木暮徹さん(同姓同名多数)という青年と出合った。彼には不思議な能力があり、人には見えない霊が見えた。前世も覚えていた。袖すり合うも多生の縁。その縁で私とは何度か逢っていると云った。江戸時代に一度。2000年前に一度。二人ともキリストイエスの話をきく群衆の中にいた。そしてエジプト時代にもいた。どこかで聞いた様な話ではあつたが、嘘をつく

ような青年ではなかった。生れ変わり話によれば前世はこの地球だけではない。太陽系だと金星人が多い。恒星系だとシリウスやプレアデスその他がある。中学生時代から天文好きだつたせいでその先は馬の骨でなくシリウスのドゴン惑星か、プレアデスだつたらいいのと思つているがその辺の話は聞かなかつた。私は未だ不思議体験の欠片かけらもない。金星は昼夜460度で硫酸の雨が降る地獄で生物は住めない。プレアデスやば和名「すばる」は散開星団で約443光年、シリウスは8.6光年の連星、あり得ない、というのは野暮な話である。

予算がなくて出来る事

8頁 ※ 放射能に汚染された表土をはぎ取り、それを郊外に山積みにするという膨大な土木予算を要する対策の他に効果的で低予算の方法が幾つもあり、実験も重ね効果も実証されています。これらは何故か報道されません。

縁があり30年以上東北の栗子峠を往復しています。5、6年前(詳細不明)この国道13号沿いに高速道路が建設され数年後完成すると聞きます。この地域冬は雪に埋もれます。雪道で高速はナンセンスです。熊やカモシカが呆れています。



プレアデス星団(すばる)

魔法使いがイイ

13頁 ※1 詩画集「第Ⅱステージ19の夏」本年9月に上げた学者の方は割愛します。9月以降に知った学者の方が七名おられます。

ー脳ホログラフィ理論ー カールプリグラム

著書「創造性について」 デヴィッド・ホーム。理論物理学、哲学、神経心理学。

著書「生命のニューサイエンス」ルパート・シエルドレイク。生化学、植物生理学、「形態形成場」理論提唱。

著書「ホログラフィック・ユニヴァース」マイケル・タルボット 超常現象を量子論。新物理学から解明。

著書「物質の究極と人間の意識」半田広宣・佐藤博紀

著書「サイレント・パルス」ジョージ・レオナード ニューサイエンス、文学博士。

著書「内宇宙・外宇宙」ブライアン・オレアリー 天文学、地球科学、宇宙工学、アポロ打ち上げスタッフ。

※2 電話が対応できる音の周波数300Hz、3400Hz、鈴虫4500Hz、コオロギ5000Hzで聞こえない。人間の可聴周波数20Hz、20kHz内でも趣味が違つたと話が見えなくなります。

人間は一人しかない

15頁 ※ルカ伝19章1、6 「ザアカイよ。木から降りてきなさい」人々に嫌われている職業の収税人のザアカイは小柄だったのでイエスを一目見たいと木に登つてイエスの一行を待っていたのだといひます。

水上勉の作品の中で異色の仏教童話があります。「ブナよ 木からおりてこい」です。偶然でしょうか。

モチーフはこのルカ伝ではないかと言う気がしてなりません。

子曰く八十にして刮目す

17頁 ※ 胡蝶の夢(こちょうのゆめ)は、道教の始祖の一人とされる人物の莊子(莊周)による説話である。



莊子の思想は2300年の時を超え相對論、量子論を知った現代の先端科学者により改めて見直されている。

針供養

19頁 ※ ユダヤ人男子は出生後必ず割礼される。何千年も繰り返しているのにオチンチンの先づば(包茎)が欠けている男子は未だいないのにバカな実験をしたもんだよ。

ゼンタイ トマレ

23頁 ※ オズの魔法使い

話せば分かる

24頁 ※1 5.15事件、昭和七年。五月十五日(日) 海軍将校がクーデターを起こした。

時の総理大臣犬養毅を射殺する目的で決起した青年将校達が官邸に乱入した。表口から乱入した三上将校の第1発めが何故か不発であった。「待て、話をきいてくれ」と応接室で話しているところへ裏口から侵入した黒岩将校が「何をしている!」と腹部を撃ち、続いて三上将校が遅れじと頭部を撃つた。致命傷を与えた将校達はすぐその場を退去したが深夜まで息のあった犬養首相は「あの若者達ともう一度話し合いたい」と言っていたという。

※2 バクスター効果。反論あり。その反論あり。「動物は全てを知っている」 アレンブーン

※3 少女ティップ その他大勢 youtube参照

25頁 ※4 ルカ伝8-22、5

再会

27頁 ※ 火星には月(衛星)が二つある。木星には67ヶ。土星には64ヶ。天王星にも27ヶある。賑やかな夜空である。

長崎の夜はむらさき♪。惑星の夜はいろいろ。

ルーツ



29頁 ※マタイ25:140

秋は赤い実

30頁 ※ 星雲番号というものがありません。フランスの天文学者シャルル・メシエ(1730、1817)が全天の星雲、星団をリストアップして整理番号をつけたものです。因みにM1は「かに星雲」M31「アンドロメダ星雲」M42「オリオン座大星雲」何故か南天の空に肉眼でも見えるという「マゼラン星雲」はリストからはずれています。二百年前の天文学です。

31頁 ※ 0.3ミリから1ミリではぼ透明。深海から高山までいるという。種類は二万から億単位の寄生虫がいる。いまだよく分からない地球生物。

天上天下唯我独尊(吾解)

38頁※ 物質、空間、時間はそれぞれに関数であるという相対性理論の原型

39頁※ この現象界は全て創造主のイリュージョンである。といった方がいる。宗教家ではない。仏典にもキリスト教にも造詣が深い物理学者である。

悪人皆無愚人少々

43頁 ※1 ヨハネ伝9:41

※2 九十年代猿回しの調教師太郎が悪さをする次郎(サル)に「反省」と掛け声を掛けると手をついてうなだれた。

※3 「イワンのバカ」トルストイ作

※4 二人は円通寺で出会った。国仙和尚は良寛の本質を見抜いた。一見愚かそうに見えるが良寛の大愚は大賢に通じる。と賞賛した。死期を感じた国仙和尚自分の死後のことを洞察し円通寺を離れての諸国行脚をすすめた。

良寛は間もなく円通寺を去った。

これでイイのだ



44頁 ※1 「愛は死よりも死の恐怖よりも強い」 出典↓ ツルゲーネフの散文詩「すずめ」 子雀を救うため近づく
犬の鼻先を何度もかすめ恐怖で息絶えた親雀を見た。

45頁 ※2 アウシユピッツに収監されたゴルベ神父は餓死刑の身代わりを申し出て殺された。

※3 ピラミッド以前の文明があった

※4 マタイ伝 6:29

※5 ルカ伝 7章36、47

ほとけさま誤伝

47頁 ※ 平安時代の「本地垂迹」は仏も神も元を辿れば同じだ、という考えで世界に誇るべき平和思想です。
これなら宗教戦争は起こりません。神仏習合、神仏混淆しゅうごう、神仏混淆こんごう。いずれも神仏平和共存の素晴らしい日本人の発明です。
私的蛇足ですが神仏集合もあり、お酒を供えることも多いので神仏酒豪もありでいいと思います。

私家版 詩画集「第Ⅱステージ i9の秋」

平成二十八年十二月

制作 手作り出版舎

蓮田市黒浜3111の2

制作 やまのうえの山上 むらひと村人

戸籍名 大畑 善夫